

令和4年度

事業計画書

一般社団法人 日本自動車工業会

事業計画書目次

I. 委員会の事業活動

1. 総合政策委員会	1
2. 安全技術・政策委員会	2
3. 環境技術・政策委員会	2
4. サプライチェーン委員会	2
5. 次世代モビリティ委員会	3
6. 二輪車委員会	3
7. 軽自動車委員会	4
8. 大型車委員会	4
9. モーターショー委員会	4

I. 委員会の事業活動

1. 総合政策委員会

(1) 成長・雇用・分配への取組み

- ・自工会一丸で、自動車産業の持続的取組み（経済貢献、「成長と分配」の好循環）の発信・理解活動（国内外ステークホルダーとのネットワーク強化・拡大）
- ・労使交渉等の場面を通じた各社からの発信強化
- ・裾野の広い自動車産業の国際競争力を阻害しない知的財産制度・運用の実現への取組み

(2) 税制改正

- ・国民的な議論を喚起し、ユーザー負担軽減及びカーボンニュートラル実現に資する税制抜本改革への道筋作り
- ・カーボンプライシング等の枠組みを含めた負担の在り方の議論を進め、自動車業界のカーボンニュートラルを推進
- ・特定の技術に限定せず選択肢を広げるためのチャレンジに向けたインセンティブの拡充（R&D／設備投資）

(3) カーボンニュートラル

- ・カーボンニュートラル燃料や水素等「多様な選択肢」の実現に向けた理解醸成（自動車5団体の枠組みも活用）
- ・自動車業界としての雇用の維持・創出に向けた取組み

(4) CASE（自動運転・デジタル）

- ・人・クルマ・交通環境の三位一体活動に向けた検討体制の確立、課題の洗い出し・解決に向けた具体策の実行
- ・自工会デジタル化に向けた情報共有の仕組み・ツールの導入。

(5) 自動車業界ファンづくり

- ・福祉車両をはじめとするあらゆるモビリティの応援団の拡大
- ・これからユーザーになる若年層へ「モビリティ」の未来の可能性や期待を発信
- ・モータースポーツの盛り上げをはじめとするクルマ・バイクの楽しさを訴求する取組みの推進

(6) (1) ~ (5) 横串での活動

- ・理事会の方針に沿って各委員会が運営・連携していくための仕組み改善、フォロー
- ・正副会長をサポートするための仕組み構築、フォロー
- ・上記5テーマの推進に向けた自動車5団体活動の拡大・強化

2. 安全技術・政策委員会

- (1) 交通事故ゼロに向け、事故実態や各種委託調査・研究結果に基づく車両安全対策の検討、通信・道路インフラの整備への提言、道路利用者への安全啓発等の三位一体の取組みを推進
- (2) 日本政府、JASIC、OICA 等を通じた国連規則の策定と国際的な車両型式認証制度 (IWVTA) の拡大に向けた積極的な提案、標準化推進団体との連携による戦略的な国際標準化の推進と日本のリーダーシップ維持・強化
- (3) 産業全体として拡大すべき協調領域の立案と具現化 (新たな協調領域の発掘等)

3. 環境技術・政策委員会

- (1) 2050年カーボンニュートラルの達成に向けたマルチパスウェイでの技術・政策課題の検討と渉外活動
- (2) 環境領域における各種規制の適正化・基準調和・標準化活動並びにこれらに対する渉外活動

4. サプライチェーン委員会

- (1) 自動車5団体連携による中小サプライヤー生産現場の強靱化の推進、SDGs課題の取組み共有
- (2) 部品／材料／物流の安定調達に向けた取組み推進、整備基盤の強化、デジタル化の活用
- (3) カーボンニュートラル実現に向け、自工会内及び自動車5団体連携を通じたサプライチェーン全体での取組みの浸透

- (4) 取引適正化をサプライチェーン全体に浸透・普及させるため、さらなる改善や対策を業界で連携して推進
- (5) 先進技術、車両技術の高度化に伴う整備領域の拡大・進化への対応、OSSによる完全デジタル化推進への対応
- (6) 自動車5団体との自動車業界ファンづくりの連携活動

5. 次世代モビリティ委員会

- (1) 新たな価値の提供やカーボンニュートラル等、未来のモビリティ社会及びデジタル社会の実現に向けた他業界・行政府との連携促進、取組み具体化
 - ・協創パートナーへの理解活動と新価値創出
 - ・新たなサービス構築のためのプラットフォーム・インターフェース整備
 - ・コネクティッドカー進化に向けた環境整備
 - ・新たなモビリティの国内外規格標準化推進
 - ・デジタルルール形成
- (2) コネクティッドサービスと、それを支える仕組みづくりに向けたロードマップの具体化、実装目処付け
 - ・新たな災害時車両データ活用
 - ・購買／保有意欲向上・社会公共性に資するサービス

6. 二輪車委員会

- (1) 経済産業省と連携した二輪産業ロードマップ施策推進
- (2) 利用／保有環境改善による二輪市場の活性化
- (3) 二輪ファンづくりにつながる情報発信
- (4) 2050年カーボンニュートラルに向けた二輪車としての取組み
- (5) 電動二輪車の国際標準化推進・法規整備
- (6) 安全運転の啓発（特に低中所得国での交通安全活動促進）
- (7) 国際自工会を通じた世界の二輪市場と産業のリード、グローバルなビジネス環境の整備
 - ・国際自工会を通じた日本発の二輪車国際安全環境法規の制定
 - ・アジアの健全な技術基準調和の推進とアセアンMRAの円滑な運営促進

7. 軽自動車委員会

- (1) 地方・生活者の生活必需品としてのニーズを知る等、「お客様のことを知る」活動の実施
- (2) 軽自動車による「市場・経済活性化・地域貢献活動」の実施
- (3) 安心・安全なモビリティ社会に向けた、軽自動車の安全性に関する理解促進活動の実施
- (4) 地方・生活者の生活必需品という役割を踏まえたカーボンニュートラルの実現

8. 大型車委員会

- (1) 物流、人流に関わる社会課題解決に向けた大型4社協調取組みの推進
- (2) 大型車として税制・補助金の在り方を検討
- (3) 大型車の電動化目標／カーボンニュートラル実現に向けた取組み
- (4) 大型車業界の技術をベースにした社会的課題への対応

9. モーターショー委員会

- (1) 東京モビリティショーへの変革や地域活性化イベントを通じた新たな仲間づくり
- (2) モータースポーツを通じたクルマ・バイクの魅力訴求／新規連携
- (3) 次回ショーの「グリーン&デジタル」をテーマに、日本を元気にする取組み・イベントで仲間づくりを推進(地方や様々な業界・イベントとの連携)